

# おくたま 町議会だより



160号

平成24年2月5日  
発行 奥多摩町議会  
電話 (0428)83-2111

## 平成23年12月1日 新体制がスタートしました

①

副議長  
須崎  
眞

議長  
清水  
典子

### 就任にあたって

昨年は12月1日より、議員定数が14名から12名に削減され、新しい議会構成となり、私ども清水典子、須崎 眞が正副議長に就任いたしました。微力ではありますが、その使命を果たしてまいります。

町政においては、昨年の4月1日より念願の町営水道から都営水道へと、また下水道事業も着々と整備が進み、ゴミの共同処理を行う西秋川衛生組合への加入も実現するなど、多くの重要な事業が順調に進行できたことは、町や町民にとって誠に喜ばしいことでもあります。

これは、長年の努力が東京都や近隣の自治体に理解され、ご協力をいただいた結果であり、改めて関係者皆様に感謝申し上げます。

今後も、町民皆様の期待に添えるよう、議員活動を通して、より良い町づくりのために努力してまいります。

## 第3回臨時町議会

12月1日、第3回臨時会が招

集され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙等、次のとおり決定しました。

下水道事業特別委員会

◎竹内 和男 ○村木 征一  
石田 芳英 高橋 邦男  
杉村 良一 酒井 正利

多摩都市モノレール等建設促進  
協議会委員

清水 典子 師岡 伸公

下水道事業運営委員会委員

村木 征一 前田 悦男

健康づくり推進協議会委員

石田 芳英

(一部事務組合議会、他)

首都圏中央連絡道路建設促進協  
議会委員

清水 典子

国民健康保険運営協議会委員

酒井 正利

秋川衛生組合議会議員

多摩川南岸道路建設促進協議会  
委員

◎村木 征一 ○竹内 和男

公害対策審議会委員

西秋川衛生組合議会議員

杉村 良一 須崎 眞

石田 芳英 宮野 亨

高橋 邦男 原島 幸次

前田 悦男

杉村 良一

杉村 良一 師岡 伸公

須崎 眞 竹内 和男

(常任委員会等)

総務文教常任委員会

◎師岡 伸公 ○杉村 良一

三多摩上下水及び道路建設促進  
協議会委員

理事 清水 典子

議会だより編集委員会委員

◎須崎 眞 高橋 邦男

石田 芳英 宮野 亨

石田 芳英 須崎 眞

第1委員会(上水)

高橋邦男

杉村 良一 師岡 伸公

竹内 和男

経済厚生常任委員会

◎酒井 正利 ○高橋 邦男

第2委員会(下水)

村木 征一

表彰審査委員会委員

師岡 伸公 酒井 正利

宮野 亨 原島 幸次

第3委員会(道路建設)

原島 幸次

須崎 眞 清水 典子

須崎 眞

前田 悦男

村木 征一 清水 典子

議会運営委員会

◎前田 悦男 ○宮野 亨

三鷹・立川間立体化複々線促進  
協議会委員

清水 典子 師岡 伸公

青少年問題協議会委員

宮野 亨 師岡 伸公

奥多摩観光協会役員

清水 典子 宮野 亨

原島 幸次 師岡 伸公

酒井 正利 須崎 眞

酒井 正利

原島 幸次 酒井 正利

西多摩地域広域行政圏協議会審議会委員

師岡 伸公 酒井 正利  
清水 典子

三か町村議会議員広域連絡協議会委員

全議員 (◎清水 典子)

青梅商工会議所顧問

清水 典子

大多摩観光連盟参与

清水 典子

奥多摩・檜原間林道鋸山線改修都道編入促進協議会委員

宮野 亨 高橋 邦男  
原島 幸次 杉村 良一  
酒井 正利 清水 典子

国道139号松姫トンネル建設促進連絡協議会委員

石田 芳英 須崎 眞  
清水 典子

◎委員長 ○副委員長

### 町長提出議案と結果

次の議案を可決しました。

#### 条 例

##### ○議案第58号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

カット

### 第4回定例町議会

第4回定例会は、12月9日から16日までの、会期8日間に行われ開催されました。

### 町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決又は同意しました。

#### 補 正 予 算

##### ○議案第59号

一般会計(第2号)

##### ○議案第60号

都民の森管理運営事業特別会計(第2号)

##### ○議案第61号

国民健康保険特別会計(第2号)

##### ○議案第62号

介護保険特別会計(第2号)

##### ○議案第63号

下水道事業特別会計(第2号)

##### ○議案第64号

国民健康保険病院事業会計(第1号)

人 事

##### ○議案第65号

監査委員(議会選出)

監査委員、小澤春義氏の任期満了に伴い、次の方を選任することに同意しました。

・原島幸次氏(新任)  
(氷川740番地)

### 陳情の取り扱い

不採択としたもの

○子ども・子育て新システムに対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める陳情書

カット

# 一般質問

23年12月議会では、14日の2日目に7名の議員が質問を行いました。(通告順)

竹内和男議員

奥多摩町第四期長期総合計画について

(答) 森林の保全と林業の振興は重要な課題であり、様々な施策に取り組んでおり、多摩産材の利用拡大に努めている

竹内 森林づくりの推進の分野での、中間での成果は。資源を活用した行政を進めるべきであり、長期総合計画の見直しも含め、今後の林業政策等を打ち出していただきたい

町長 総合計画の後期計画において前期計画の成果として記載

されているが、森林再生事業による人工林の整備が進展し、シカの食害による裸地化の整備も完了し、良好な森林づくりが進んでいる。若者等の担い手や森林ボランティアの育成も順調に進んでおり、今後は活動の場所を提供していきたい。今年度予算においては、林業振興費、及び森林費として約1億円を計上したほか、林道治山費として1億2千700万円余りを計上した。

また、もえぎの湯木質バイオマスのポイラーに使用する、木質チップの安定供給に向けたシステムを構築するための予算措置も検討している。森林の保全と林業の振興は重要な課題であり、小中学校の木質化等、多摩産材の普及と利用拡大に努めている。

なお、長期総合計画は議会の同意をいただいた10年間の計画を基本として、前期計画と後期計画を執行していくものであり、計画の見直しは後期計画が終了して次の10年計画を策定するにあたり、検討を行っていると考えている。

村木征一議員

奥多摩駅前で営業しているタクシーの夜間営業の存続について

(答) 様々な理由により、会社側では再開は困難であると結論づけられた。町としても、投資的効果が得られないことから、夜間営業の再開を断念せざるを得ないと判断した

村木 会社側と夜間営業の存続に向けて協議しているとのことであるが、結果はどうであったのか。助成金を増額してでも、営業の存続に向け努力してほしいと考えるが、町長の考えは

町長 京王自動車社内において前向きな検討をしていただいたが、グループ本社との判断により夜間営業の再開は困難であると結論づけられた。

その理由として、氷川営業所の赤字の大半が夕方から夜半にかけて発生していること、補助

金による営業を続けても黒字に転換するとは考えにくいこと、氷川営業所の赤字分を青梅営業所の黒字分で埋めていたが、これが限界に達していること等があげられた。

また、町としては第四期介護保険事業計画策定に伴い、高齢者アンケートでタクシーの必要性について設問を設けたが、その必要性は低い結果となった。町内全域の住民皆様が対象ではなく氷川地域限定のことでもあり、公金を使用しても投資的効果がほとんど得られないことから、夜間営業の再開を断念せざるを得ないと判断した。

師岡伸公議員

せせらぎの里美術館付近への観光トイレの設置について

(答) 青梅市との境に整備をしていただけよう、東京都環境局に働きかけていく

**師岡** 付近に観光トイレがなく、せせらぎの里美術館でも対応に苦慮しているようだ。奥多摩の玄関口としての機能を果たす、観光の情報発信基地としての機能を併せ持った施設の設置を

**町長** 施設の設置にあたっては、レストランの営業に与える影響や管理者との協議、建設経費等を勘案して検討しなければならぬが、財政的にも早期の設置は難しいと考えられる。当町と青梅市との境にある、都環境局が管理している駐車スペースに、環境局で整備を行っていただくよう働きかけていきたい。

### 学校運動場の芝生化の現状と今後について

（答）子どもや保護者の方々に含めて、良い感触が得られている。維持管理は関係者により十分行える。順次芝生化を進めて行くが、学校施設以外のグラウンドは、立地や使用目的を考慮し検討していく

**師岡** 古里小学校校庭の一部に芝生が張られたが、①児童への教育効果について②維持管理体制について③他のグラウンド等への今後の計画について問う

**教育長** ①古里小学校の芝生化は、東京都の「芝生出前講座」という事業で、試験的に150平方メートル程度を設置した。体育の授業では準備体操を裸足で行ったり、授業そのものを芝生の上で行っている。他にも図工の授業や休み時間等に、子どもが楽しんで見ることでできる。健康面にも良い影響があると考えられ、保護者の方々からも好意的な意見が寄せられている。

②毎朝管理職が危険物等のチェックを行っているほか、水撒きは秋までは1日に1・2回程度、11月以降はほとんど行わない状態である。芝刈りも11月に一度行ったのみで、煩わしさは少なく、教職員及び作業員により十分な管理が行えている。

③校庭の芝生化は、古里小学校

以外の学校について順次進めていきたいと考えているが、登記原グラウンド等の学校施設以外の芝生化については、立地条件や使用目的を考慮し検討していきたい。

### 酒井正利議員

#### 防災メールについて

（答）NTTドコモが提供する「エリアメール」及び「i（アイ）トピックス」の導入を図り、災害情報等を消防団員や一般住民に発信していきたい

**酒井** 災害情報等を、消防団員や登録された住民の方に一斉に通知できる防災メールは、いつでも、どこでもタイムリーな情報が受け取れ、非常に有効な手段である。所見は

**町長** NTTドコモで提供している緊急速報サービス、「エリア

メール」を活用した情報伝達の整備について検討を開始している。東日本大震災を機に、このサービスが7月から無料になった経過もあり、ぜひ活用していきたいと考えている。

また、NTTからは「iトピックス」というサービスの提案をいただいております。現在検討を行っているところである。このシステムは、町のホームページからメールによる防災情報等提供サービスの利用登録をすることで、携帯電話やパソコンで火災等の災害情報や、消防団員の招集情報を受け取れるサービスである。これにより、消防団員や一般の住民の方が、防災行政無線の個別受信機のない屋外、町外で情報を得ることが可能となるため、町民が安心して生活できるよう、早急に整備を行っていきたい。

石田芳英議員

観光立町にふさわしい町並み、景観の改善や利便性の向上への取り組みについて

石田 ①奥多摩駅前、長畑、南氷川通りの電線地中化について  
②観光立町にふさわしい町営看板の設置について③観光拠点の駐車場不足について④南氷川地区への観光用トイレの設置について⑤遊歩道、サイクリングロード、ベンチ、休憩所、植栽、モニメントの設置について

町長 ①地中化するには、まず歩道の拡幅が絶対条件となる。長期的な計画で対応せざるをえない。  
②森林の町にふさわしいよう木材を利用し、素材の色をそのまま生かす等、周囲の景観に配慮しながら設置している。  
③駐車場の確保の必要性は感じているが、財政的な面もあり、公共交通機関の利用促進をPR

することに対応したい。  
④付近の観光用トイレの設置状況からみて、南氷川には設置の必要性がないと判断する。  
⑤遊歩道等の設置は地形的に困難である。アートクラフト・フェスティバルを支援し、芸術活動を奨励するとともに、人の循環による経済効果を図りたい。

不正・誤謬（ごびゅう）防止のための発生主義会計、複式簿記の公会計導入について  
（答）平成23年度決算から、複式簿記を導入し公表する

石田 町監査委員の監査意見の見解を含め、今後の取り組みや方針について町長の所見は

町長 平成18年8月に「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が総務省から示され、町村では平成23年度決算から複式簿記による「連結財務書類4表」を作成し、公表することになっている。

住民の医療難民・買物難民をなくすための利便性の向上について（ふれあいタクシー、町営バスの設置）

（答）当町の公共交通機関の状況を考えると、町独自での運行は難しいと考えている

石田 地域の利便性向上のためには、ふれあいタクシー又は町営バスの運行がその方策と考えるが、町長の所見は

町長 既存のバス路線と重複しての路線認可が得られないこと、奥多摩駅前に民間タクシー事業者が営業していることを考えると、実現は難しいと考えている。  
医療面では社会福祉協議会が外出支援サービスを行っており、買い物では商業協同組合と連携して宅配サービスに取り組んでいきたいと考えている。

町営「鳩ノ巣荘」建替計画について

.....

石田 ①多額の建設資金の原資はどうなっているか②新規の宿泊型観光を確保できる確証は何か③当該施設の採算がとれる理由は④民業圧迫つながらないか⑤将来発生する大規模改修、撤去費用等の引当金を考慮に入れているか⑥経営に失敗する危険性はないといえるか

町長 ①その多くを東京都の支援で賄う考えである。町の資金の投入は極力抑制し、住民負担の軽減に努めたい。

②古くからの顧客も獲得しており、リニューアルオープンに向けて、PR活動を積極的に行っていく。

③アンケート結果では、顧客満足度は高いが老朽化が原因で低い評価となっており、施設の建て替えが急務である。

④現状の観光客を官と民とで奪い合うという考えではなく、集客の相乗効果を波及させるといいう考えで取り組んでいる。

⑤引当金に代わる「観光施設等整備基金」を、毎年度計画的に

積み立てている。

⑥リニールオープンとは3年後で、時期尚早なご質問だと理解している。失敗しないよう取り組むのは当然である。

### 高橋邦男議員

奥多摩町における過疎化・少子高齢化対策としての支援事業の今後の推進と、「人の支援」をどう捉えているか

(答) 今年度以降においても、少子高齢化、少子化対策について、積極的に施策の拡充を図っていく。身近なまちづくり支援事業、及び中学生海外派遣事業を引き続き実施し、人づくりを行っていききたい

高橋 ①現時点で、多くの子育てと若者定住化への支援事業を実施しているが、今後の支援事業の推進について、町の考えは②財政支援とともに、人の支援

も大切なことであると考え、人の支援をどう捉えているか

町長 ①地域から若者世代が流出することで地域の活力がなくなり、高齢化の進行とあいまって過疎化がますます加速される。

このため、当町が早急に解決しなければならぬ課題として、子育て世代の転出や少子化による人口減少を少しでも食い止めるため、様々な支援策や定住化対策に重点を置き、充実させてきた。平成24年度も学校施設の木質化を積極的に推進するほか、グラウンドの芝生化、定住化促進のための住宅地の分譲、それに合わせて町道の整備を行う等、今後も積極的に拡充を図っていく所存である。

②通算7年目となっている「身近なまちづくり支援事業」では、住民皆様から提案された35事業に1千542万7千円の支援金が交付されている。なかでも、この支援事業から発生した「たまものグループ」が、第2回都内産農林産物を使用した料理コ

ンクールにおいて、最優秀賞を受賞し、広報おきたま12月号の1面で紹介させていただいた。この支援事業は人づくりや、地域及び町の活性化に通じるものがあると考えている。

また、中学生海外派遣事業を引き続き実施することで、より多くの子供たちが「世界観」や「価値観」を養える場を提供していく考えである。

### 宮野 亨議員

投票所入場券の裏面に宣誓書を印刷し期日前投票の簡素化を

(答) 入場整理券とともに、現在の様式を添付書類として郵送する方法、インターネットを利用する方法等、検討を行っていく

宮野 有権者が自宅で落ち着いて記入できるよう、各世帯に郵送される投票所入場券の裏面に

宣誓書を印刷したらどうか。8月に成立した改正障害者基本法にうたわれている、障がい者の円滑な投票のために必要な施策に該当するのではないかと

選挙管理委員会書記長(総務課長) 期日前投票者数は制度の浸透とともに毎回増加し、11月20日に執行された町議会議員選挙では、投票者数全体の約25%を占める1千44人となった。

東京都選挙管理委員会が6月にまとめた調査においては、入場整理券に宣誓書を印刷している区市町村は、都内で6割近くの自治体を実施しているとのことである。しかし、統一の選挙システムを導入している西多摩郡4町村では、まだ実施されていない。4月の東京都知事選挙から、入場整理券を封書で郵送することとなったため、現在の様式を添付書類として同封する方法、インターネットを利用する方法等、検討を行っていく。

# 議会 日誌

29日 議員研修会

## 12月

1日 第3回臨時会

7日 議会運営委員会

9日 第4回定例会（第1日）

12日 連合審査会・経済厚生常任委員会

会

14日 第4回定例会（第2日）

16日 第4回定例会（第3日）

19日 国民健康保険運営協議会

## 1月

5日 青梅商工会議所賀詞交歓会

青梅警察署武道始式

青梅警察協力3団体懇親会

6日 町賀詞交歓会

8日 消防団出初式

9日 成人の日の式

12日 西多摩地区議長会賀詞交歓会

14日 柔道会柔道稽古始め式・新年会

16日～17日

東京市町村総合事務組合議会行政視察（沖縄県那覇市）

19日 西秋川衛生組合議員説明会

20日 議会だより編集委員会

東京都三多摩地区消防団運営協議会第二部会

議員研修会

28日 議員研修会

秋の交通安全功労者表彰式

24日 議員懇談会

議会本会議

21日 東京都後期高齢者医療広域連合

西秋川衛生組合加入歓迎会

16日 町村議会議長全国大会

由民主党との懇談会

15日 都道府県町村議会議長会長と自

火災予防業務協力者等表彰式

14日 全国過疎地域自立促進連盟定期

総会

11日 西多摩地区議長会議員研修会・

定例会

10日 暴力団追放都民大会

7日 東京都後期高齢者医療広域連合

議会定例会

6日 山のふるさと村音楽祭

3日 町表彰式

1日～2日

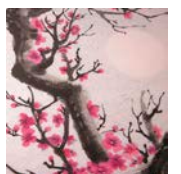
東京町議会議長会臨時総

会・現地研修会（奥多摩町・瑞

穂町）

11月

## 編集後記



昨年11月に町議会議員選挙が行なわれ、今後は12名の議員で議会運営に取り組んでまいります。また、私たちが町議会だよりの編集委員となりましたので、よろしくお願いたします。

昨年3月11日に東日本大震災が起こりました。地震に伴う福島原発での事故もあり、多くの方が被災されました。いまだに事故は収束できず、避難を余儀なくされている方々があります。復興に向けて実際に進んでいく年になると思いますが、この災害を教訓に、国、並びに地方自治体の防災対策が見直されるのではないかと考えられます。奥多摩町においても地域防災計画を見直し、暮らしやすい町を目指してまいります。

（須崎 眞）

高橋 邦男

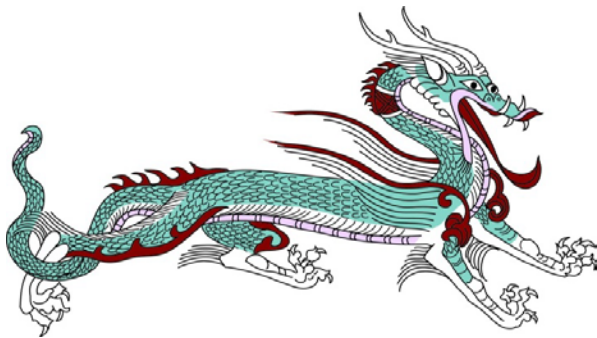
杉村 良一

師岡 伸公

竹内 和男

高松塚古墳壁画・青龍

（今年の干支）





1ページ①に入れる

皆様のご支援を

お願い申し上げます